

(案)

平成 25 年 月 日

長岡市長 森 民夫 様

山古志地域委員会
委員長 樺澤 和幸

要 望 書

震災より 9 年を迎え 10 月 23 日には、やまこし復興交流館「おらたる」がオープンし、中越メモリアル回廊が完成いたします。

「やまこし復興交流館」が当地域の拠点施設として、県内外より多くの来場者が訪れ地域の活性化に繋がるものと期待しております。その反面、現状の支所駐車場規模では、観光バスや来訪者の駐車スペースの増加により、各種イベント会場としての利用は困難となるほか、支所及び診療所、体育館を利用する市民の駐車場の確保も懸念されます。

駐車場の問題はその他、古志高原スキー場の来場者数に対して駐車場が大幅に不足し、路上駐車が日常的になっているため、除雪や周辺の住民の生活に支障をきたしており、駐車場に近接する錦鯉センター屋上からの落雪も駐車場利用者にとって危険な状況にあります。

上記理由から、市民をはじめ、当地域を訪れる多くの皆様のためにも駐車場の整備は必要不可欠であり、早急に整備を進める必要があります。

つきましては、下記のとおり要望させていただきますので、早期実現に向けてご尽力いただくようお願い申し上げます。

記

- 1 古志高原スキー場来場者の路上駐車を解消するとともに「やまこし復興交流館」ほか周辺施設の利用者の駐車場を確保すること
- 2 事業手法として、冬季間落雪等で危険とされている錦鯉センター及び周辺施設を取壊し、駐車場・イベント広場として整備を早急に図ること
- 3 「錦鯉発祥の地」としてのブランド力低下に繋がらぬよう錦鯉振興政策の強化を引続き進めること。